

中小企業のための 戦略的会計



3年余りにわたって私たちの社会生活に大きな影響を及ぼしてきた新型コロナウイルス感染症にもようやく沈静化がみられ、経済活動の正常化が進むなか、内需を中心に持ち直しの傾向がでてきました。しかしながら、コロナがもたらした人びとの生活スタイルや消費行動の変容により、企業経営者には従来とは異なるマーケティングの見直しや経営戦略の再構築が迫られています。

企業経営者が新たな経営環境の中で事業を運営し意思決定を行っていくうえで、まず自社の状況を正確に把握することが不可欠です。中でも、会計情報をどう今後の経営戦略に活用していくかという「戦略的会計」の重要性が増しています。

本号では「中小企業のための戦略的会計」をテーマとして特集を組み、「コロナ禍でも強い企業の決算書」「中小企業の経営者のための管理会計」「キャッシュフロー経営の勧め」の3本の論文を取りあげました。

コロナ禍でも強い企業の決算書

村上 裕太郎

01

中小企業の経営者のための 管理会計

林 健太郎

02

キャッシュフロー経営の勧め

佐藤 修一

03